

全国ニュースにもなった長野県の各地にもたらした雨水害、このくらい大規模に発生すると注目を浴びるものと実感した。

雨水現象自体は寒い地域に住む人多くの人が見ている、木の枝などに氷がコーティングされてこれに太陽が当たると「キラキラ」と輝いてきれいな景色となる。

よく冷やしたペットボトルの水をキャップを空けた途端に氷になることは体験した、これと同様なことが気象現象にも表れたのが雨水になる、水の凝固点は0℃であるが、ある条件では、0℃以下であっても凍らないで液体のまま保つことがあり、これを過冷却状態という。この状態の雨のまま落下してきて、物や地面に触れた衝撃で凍結してそのまま付着する現象です。



とにかく2016年1月29日の朝から始まった雨水から夕方の倒木被害の自分たちの経過を清水ニュースに掲載した部分を以下に。

とにかく2016年1月29日の朝から始まった雨水から夕方の倒木被害の自分たちの経過を清水ニュースに掲載した部分を以下に。

1月29日(金) 朝からすでに雨水、雨は雪にならず夕方から夜まで雨水は成長していく、18:00過ぎに標高1000mの清水高原入口(砂防ダム付近)の観光道路に倒木が発生しており、役場の担当者とカイトノきよみずの送迎マイクロ運転手が対応していた。それ以前はなんとか道路には倒木がなく通行出来たようだ、この間、あちこちですさまじい木の折れる音が聞こえる。**生命危険状態**



1月30日(土) 昨日は帰宅難民で松本市内のホテルから10時30分頃に唐沢そば集落についた。そこからさらに本道を行くと、標高900mの集落が切れるところに倒木がありそこでストップ。帰宅難民2日目本格的な復旧が朝からはじまったようだが、倒木の多さとまだ倒木の危険で難航しているようだ。カイトノきよみずと住民など30人以上が取り残されたようだ。

1月31日(日) 本道が復旧(通れるように)になって、カイトノ宿泊者などが下った。**電気・水道は29日より不通**。宿泊先より、11時半頃入口付近についた。900m付近の倒木は処理され、電線の復旧を行っていた。1200mくらいにある自宅に、一時間だけ一時帰宅をした。自宅は本道から支線100m入ったところにあるためまだ倒木が多く歩いて到達した。一番心配した自宅は、松の木直径30cmが途中で折れ玄関前に転がっている等、立木はあちこちで倒れている状態だが直撃はなかった。二番目は昨年新車で買った軽トラであったが、近くまではいけなかったが荷台に倒れているのが見えた。ただ大きく壊れていないようだ。帰宅難民3日目(2ページ目につづく)



1月31日一時帰宅松が途中から

2月1日(月) 電話で状況を聞くと、電気は今日中に復旧をとのこと。帰宅難民4日目

2月2日(火) 本線の電気・カイト下の水道が昨日復旧したようだ。支線は、多分まだと思い今日自宅に帰ってみようと思い11時ころ支線入口まで到着、徒歩で自宅にとりあえず、車をいれるように、チェーンソーで倒木処理に入りました。玄関前の松を取り除き、自宅前の駐車場所まで処理していきつきました、駐車場所は栗の木が上半分転がっており処理、次に電線と道を塞いだ松2本を切り枝も合わせて道のはじめに寄せ支線を貫通させました。車を駐車場所に入れて、別の車でカイトにいき役場と電力会社に連絡ができました。

午後2時過ぎに電力会社が来ました。内を含め3軒の引き込み線が電柱から外れ、さらに電気本線から60mの電線が垂れ下がっている状態でしたので、復旧には大分かかりましたが**5時ちょっと前に復旧しました**。電気が入り、凍結防止のヒーターが作動、水は30分くらいでできました。灯油ボイラーの点検のために工務店の社長が来てくれました。これはどうしようもなく壊れました。冷たい水で一夜を過ごしましたが、暖房は電気のいない灯油ストーブと薪ストーブで電気きた後はさらに暖房をしました。



2月3日(水) ボイラーを新品に換えました。同時にトイレへの水が凍結したままなので、工事をして開通してもらいました。午後、他の被害状況を少し確認にいきました。家屋については、おおむね全壊はなさそうでした。ただ倒木がベランダのそばに落ちているのが2軒はありました。カイトきよみず脇の別荘管理組合の管理棟は桜・松の倒木はあったものの建物には到達していませんでした。管理組合のテニスコートは、

ヘリによるストーブ・水の投下の準備のため、雪かき機が入ったため痛みがあります、雪が消えてから詳しく見る必要があります。午後5時ころ、ケーブルテレビの人が、仮アンテナをつけてくれました。

2月4日(木) 午後ケーブルテレビの人が復旧に来てくれました。これで、電話とインターネットが復旧しました。

2月5日(金) 支線の木の伐採が始まりました。自宅までの支線も雪とともに小枝を寄せてくれました。これで**1週間が過ぎましたが、枝についた氷はほとんど解けません**でした。

2月9日(火) 雪が降ってきました。弓のように曲がった唐松は幾分もとに戻った、また日の当たるところの枝は少し氷が落ちた。このくらいの雪なら被害が拡大することはないだろう。**平成10年は4月1日に起こっている(その後22年とここ30年で3回)**のでまだまだ弱った木には注意が必要だと思います。

*<参考>上記写真は2015年秋に本道脇のはんの木を伐採した箇所・倒木被害は少なかった。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

